

令和7年度 1学年 音楽科 年間指導計画

月	単元名・項目名	時数	○主な学習内容(何を学ぶか) ●学習方法(どのように学ぶか)	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	○新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう 『立川第七中学校校歌』 『My Voice』 『We'll Find The Way ~はるかな道へ』 ○リズムで楽しもう	5	○新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう。 ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、自分の歌声に留意しながら、新しい仲間と一緒に表現を工夫して歌う。	歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。	拍の流れ、音のつながり方、フレーズを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
5		3	○リズムで楽しもう ●リズムや音の重なり方の組み合わせなどの技能を身に付ける。	音の重なり方や反復、変化、対照など構造上の特徴について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で音楽を作る技能を身に付ける。	リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、まとまりのある創作表現をしている。	音楽活動に楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組んでいる。
6	○混声合唱の響きを楽しもう 『明日の空へ』 『君をのせて』	3	○曲の構成を感じ取って、初めての混声合唱の表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲の構成を生かし、混声合唱の表現を工夫して演奏する。	歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。声の音色、ピアノの伴奏のリズム、各登場人物の旋律や強弱の違い、音楽の構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくつくる要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取ろうとしている。	音のつながり方、フレーズ、強弱の様々な変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
6	○イメージと音楽との関わりを感じ取ろう 映画「ジョーズ」から 『ジョーズのテーマ』	2	○イメージと音楽との関わりを感じ取ろう。 ●イメージと音楽との関わりを感じ取って、その良さや美し	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚している。	音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくつくる要素や構造と曲想との関わりを感じ	楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。

		さを味わいながら聴き、言葉で説明する。		取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
7	○音楽の特徴から情景を想像しよう 《春第1楽章》	2 ○音楽の特徴から情景を想像しよう。 ●音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、その良さや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。	楽器の音色、ソネットを表した旋律、強弱の変化、リトルネッロ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取ろうとしている。	楽器の音色、ソネットを表した旋律、強弱の変化、リトルネッロ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取るとともに、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	楽器の音色、ソネットを表した旋律、強弱の変化、リトルネッロ形式と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
9 10	○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう 《 Let's search for tomorrow》 合唱コンクール ・自由曲 ○音楽を指揮で表現してより豊かな音楽活動につなげよう 《指揮をしてみよう》	7 ○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。 ○音楽を指揮で表現してより豊かな音楽活動につなげよう ●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えて、音楽の良さや美しさを味わいながら、指揮を振る。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現するために必要な技能を身に付けて歌っている。	速度・旋律・テクスチュア・強弱・構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。 速度・旋律・テクスチュア・強弱・構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。

11					
12	○詩と音楽との関わりを感じ取ろう 《魔王》	1 ●詩の内容と曲想との関わりを感じ取って、その良さや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明する。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する	音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	旋律の雰囲気や歌い方の違いに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に鑑賞の学習活動に取り組む
1	○日本の民謡やアジア諸民族の音楽の特徴を感じ取って、あおの魅力を味わおう 《日本の民謡・郷土に伝わる民謡を調べよう》 《アジアの諸民族の音楽》	1 ●日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴をとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	拍節的なリズムと拍節的でないリズム、コブシや産字などによる旋律装飾、歌い合わせ方などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、郷土の伝統音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取って、解釈したり価値を考えたりし鑑賞している。	曲種に応じた発声や言葉の特性、郷土の伝統音楽の特徴、音楽の多様性などに关心をもち、それらを生かして音楽表現を工夫して歌ったり、音楽を鑑賞したりする学習に主体的に取り組もうとしている。
	○日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう 《赤とんぼ》 《浜辺の歌》	4 ●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。	楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、演奏したり音楽をつくったりしている。	箏の音色、速度、主旋律、旋律の重なり方や反復などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、楽器や音階の特徴を感じ取りながら、音楽表現や反復、変化、対照などの構成を工夫し、どのように演奏したり音楽をつくったりするかについて思いや意図を	楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成に关心をもち、基礎的な奏法で演奏したり、音楽表現を工夫しながら音楽をつくったりする学習に主体的に取り組もうとしている。

		<p>○箏の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう 『箏曲 六段の調』</p> <p>『さくらさくら変奏曲』</p>	<p>○箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう。</p> <p>●箏曲の特徴と背景とのかかわりをとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。</p> <p>●箏の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。</p>	<p>もって表現している。 箏の音色、拍節的なリズムと拍節的でないリズム、序破急と関係する速度の変化、奏法と関係する旋律装飾などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて、解釈したり価値を考えたりし鑑賞している。</p>	
2	3	<p>○1年間の授業で学んできた音楽の中から1曲を選び、その曲の良さをプレゼンテーションしましょう。</p> <p>『音楽の学びを振り返ろう』</p>	<p>○1年間の授業で学んできた音楽の中から1曲を選び、その曲の良さをプレゼンテーションしましょう。</p> <p>●1年間で学んできた音楽の魅力を振り返り、音楽用語を用いてプレゼンテーションをする</p>	<p>曲想と音楽の構造との関わりについて理解する</p>	<p>音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明する</p>
3					
評価方法		<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動 ・表現観察 ・実技テスト ・定期テスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における表現 ・提出物の内容 ・自己評価カード ・感想文 ・実技テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動、態度、表現 ・自己評価カード ・提出物 ・実技テスト ・小テスト
比率		1 / 3		1 / 3	1 / 3

令和7年度 2学年 音楽科 年間指導計画

月	単元名・項目名	時数	○主な学習内容 (何を学ぶか) ●学習方法 (どのように学ぶか)	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	○合唱に親しもう 『校歌』	1	○合唱に関する基礎知識を身に付ける。 ●合唱の基礎知識を確認しながら実際に取り組む。	合唱をするのに必要な技能や基礎的な発声を身に付けている。	声の音色、拍子や速度、主旋律、声部の関わり方、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、全体の響きを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
	○曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう 『交響曲第5番 ハ短調』	2	○曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わう。 ●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く。	曲想と構造との関わりについて理解している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、曲想との関わりに关心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
5	○曲想の変化を感じ取って、響きのある声で合唱しよう。 『明日に向いて』	3	○曲想の変化を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●曲想の変化を感じ取って曲にふさわしい表現を工夫して響きのある声で合唱する。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。	音色、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。
6	旋律が重なっていくおもしろさを味わおう。 ○『フーガ ト短調』	2	○旋律が重なっていくおもしろさを味わう。 ●パイプオルガンの豊かな響きを感じ取りながら、次々と現れる主題に注目して音楽の良さや美しさを味わって聴く。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。	音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに关心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。

7	<p>○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう 《大切なものの》</p>	6	<p>○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。</p>	<p>歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。</p>	<p>歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
8	<p>○オペラに親しみ、その音楽を味わおう。 《アイーダ》から</p>	2	<p>○オペラに親しみ、その音楽を味わう。 ●オペラの音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。</p>	<p>楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、演奏したり音楽をつくったりしている。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。</p>	<p>知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解する。音楽の特徴を他の芸術と関連付けて理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批判するなどして、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>音の音色、旋律、オーケストラと合唱のかかわりに关心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
9	<p>○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう。 ・合唱コンクール自由曲</p>	8	<p>○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。</p>	<p>歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。</p>	<p>歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
10						
11	<p>○曲想を生かして表情豊かに歌おう。 《サンタルチア》</p>	3	<p>○曲想を生かして、表情豊かに歌う。 ●歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。</p>	<p>歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きと関わりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>拍子や速度、主旋律、声部の関わり方、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。</p>	<p>歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きとの関わりに关心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

12	○世界のさまざまな声の音楽を味わおう。 『世界の諸民族の音楽』	3	○世界のさまざまな音楽を味わう。 ●世界のさまざまな音楽の特徴をとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。	音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、諸外国の様々な音楽に親しんでいる
1	○日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・ 箏（こと）を弾いてみよう 『さくら変奏曲』 文楽に親しみ、その音楽を味わおう。	4	○日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 ●様々な郷土芸能の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●箏の特徴やいろいろな奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、演奏したり音楽をつくったりしている。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。	箏の音色、速度、主旋律、旋律の重なり方や反復などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、楽器や音階の特徴を感じ取りながら、音楽表現や反復、変化、対照などの構成を工夫し、どのように演奏したり音楽をつくったりするかについて思いや意図をもって表現している。 音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、基礎的な奏法で演奏したり、音楽表現を工夫しながら音楽をつくったりする学習に主体的に取り組もうとしている。
	○歌詞の内容や曲想を感じ取って 『君に伝えたい』 ○構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルを作ろう。	4	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。 ○反復、変化、対照等の構成上の特徴について理解する。 ●3～4人グループに分かれ言葉によるリズムアン	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 音の重なり方や反復、変化、対照など構造上の特徴について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で音楽を作る技能を身に付ける。	速度・旋律・テクスチュア・強弱・構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。 リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、まとまりのある創作表現をしている。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 音楽活動に楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組んでいる。

		サンブルを作り、リズムや音の重なり方の組み合わせなどの技能を身に付ける。			
評価方法		<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動 ・表現観察 ・実技テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における表現 ・提出物の内容 ・自己評価カード ・感想文 ・実技テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動、態度、表現 ・自己評価カード ・提出物 ・実技テスト ・小テスト 	
比率		1 / 3	1 / 3	1 / 3	

令和7年度 3学年 音楽科 年間指導計画

月	単元名・項目名	時数	○主な学習内容 (何を学ぶか) ●学習方法 (どのように学ぶか)	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	○日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう 『花』 『花の街』	4	○日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌詞の内容や曲想、曲種に合った発声で、言葉の特性を生かして表現するために必要な技能や基礎的な奏法を身に付けて歌っている。	速度とその変化、調、同主調転調、主旋律と他の旋律、二つの声部、強弱とその変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わい、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
	○音楽の構成を生かして表現しよう 『Amazing Grace』		○曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●パートの役割を理解し、全体の響きや構成を考えながら音の組み合わせ方や重ね方など、表現を工夫する。	歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	拍子や速度、主旋律、声部のかかわり方、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
5		3				

6	○言葉や音階の特徴を生かして、表現を工夫しよう 『My Melody』	2	○言葉や音階の特徴を生かして、表現を工夫しよう。 ●言葉の抑揚や音階の特徴を生かして、表現を工夫しながら旋律をつくる。	言葉の抑揚や音階の特徴を生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組み合わせ方、記譜の仕方などの技能を身に付けて旋律をつくっている。	リズムや旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、言葉の抑揚や音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもって表現している。	言葉の抑揚や音階の特徴に関心をもち、それらを生かして音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。
7 8	○伴奏を工夫して自分だけの音楽をつくりう 『Let's Create』	2	○伴奏を工夫して自分だけの音楽をつくりう ●表したいイメージと関わらせながら、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に着ける	音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について表したいイメージと関わらせて理解するとともに創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に着ける	音色、リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、近くしたことと感受したこととの関わりについて考えまとまりのある創作表現を創意工夫する。	旋律と伴奏との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的。協働的に創作の学習活動に取り組むとともにアレンジによって音楽を豊かに楽しむ態度を養う。
9	○歌詞の内容や曲想を感じ取って表現しよう ・合唱コンクール自由曲	6	○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとめや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
9 10	○音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう 耳でたどる音楽史 『ブルダバ』	4	○音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう。 ●音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。

11	○雅楽や能の特徴を理解して、その魅力を味わおう 『能「敦盛」から』	3	○能の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 ●能の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	能の音楽を形づくっている楽器の音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。	能の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり、能の特徴とその背景となる文化・歴史との関連、音楽の多様性に関心をもて鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	能の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり、能の特徴とその背景となる文化・歴史との関連、音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
	○箏の表現を生かして・箏（こと）を弾いてみよう 『さくら変奏曲』	4	○箏の表現を生かして、その魅力を味わおう。 ●箏の特徴やいろいろな奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、演奏したり音楽をつくったりしている。	箏の音色、速度、主旋律、旋律の重なり方や反復などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、楽器や音階の特徴を感じ取りながら、音楽表現や反復、変化、対照などの構成を工夫し、どのように演奏したり音楽をつくったりするかについて思いや意図をもって表現している。	楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、基礎的な奏法で演奏したり、音楽表現を工夫しながら音楽をつくったりする学習に主体的に取り組もうとしている。
12	○世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 ○ルールを守って音楽を楽しもう。	2	○世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 ●世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ○音楽には創作者がいて、その音楽を利用する際には、原則として著作者の許諾を得ることを知る。	楽器の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。	楽器の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解する。世界の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や、世界の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 卒業式の歌	4	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう。 ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。	歌詞の内容や曲想、曲種に合った発声で、言葉の特性を生かして表現するために必要な技能や基礎的な奏法を身に付けて歌っている。	速度とその変化、主旋律と他の旋律、各声部のかかわり方、強弱とその変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。

3			<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動 ・表現観察 ・実技テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における表現 ・提出物の内容 ・自己評価カード ・感想文 ・実技テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動、態度、表現 ・自己評価カード ・提出物 ・実技テスト ・小テスト
評価方法			1 / 3	1 / 3	1 / 3